

令和6年度学校評価アンケート(12月実施)で、保護者の皆様からいただいたご意見やご要望(○印)に対する回答(□囲み内)です。

生徒が安全に、しかも安心して過ごすことのできる環境を創るため、全教職員が共通理解の下、日々の教育活動を展開してまいります。

<学習面>

○単元テスト・期末テストの規格(例えばA4両面プリント等)を統一していただきたいです。

教科担任は、年度当初に一年間の教育課程を見通しながら実施するテスト内容を検討します。授業で学習した内容をどういう形で問えば生徒の力になるのか、適切な設問を吟味しています。教科によっては問い方や強調して確認したい問題に差が出てきてしまいます。

単元テストについては、教科担任が厳選した業者テストと自作の問題を組み合わせて実施しています。期末テストでも、教科の特性や問題数の違いがあるため、企画を統一することは難しくなります。ご理解いただけたらと思います。

○豊城中は、テストのレベルが難しく設定されていると聞きます。勉強が苦手な生徒も、前向きにテストに取り組めるようなレベルにしていきたいと思います。

どの教科におきましても、基本・標準・発展と段階をおった問題を作成しています。「基本・標準」段階は、日々の授業で学習した内容を復習することで、力を試すことができるようになっていきます。更に、力をつけた生徒が「発展」や応用問題で手応えを感じられるような内容になっています。また、テスト範囲表にも学習のポイントを詳しく明記しています。

今後はこまめにワーク類の進捗状況を確認するとともに、基礎基本部分の習得状況をみて一人一人に合った声かけをしていきたいと思っています。

○小学生は書くことを軽視する風潮にある一方で、中学校では漢字を間違えて書かないとならないことに驚きました。中1の壁でつまづかないように、小中連携を活発にしていきたいと思います。

どの年齢になっても、正しい漢字を使って表現することはとても大切だと考えています。タブレットが普及して、漢字を書く機会が減ってきていますが、正しい漢字を理解していなければ間違った伝わり方をしてしまうかもしれません。中学校では、漢字ワークを使用して新出漢字やそれに関連する語句が正しく書けるように小テストを丁寧に行っていきます。

○期末テストは実技4教科の日程が離れているので、計画的に準備を進めることができよいと思います。4科のテスト前も部活動をお休みになると良いと思います。

4科の期末テストと5科の期末テストの時期をずらすことで、生徒からは教科数が絞られるので集中して学習に取り組むことができるという声が届いています。4科のテスト前も部活動をなしにすると、2週間連続で部活動ができないことになってしまいます。

4科期末テストの範囲は、前回のテスト後の内容で、テスト2週間前には発表していますので、計画的に学習を進めることで対応してほしいと思います。

○定期テストでのことです。質問をしたクラスには教科担任から回答あり、質問の出なかったクラスに対しては対応が何もされなかったと聞きました。全てのクラスに同様の対応をしていただくことを望みます。

教科担任がテスト問題に関して質問を受けたとき、個別に対応すればよい質問なのか、学年全体に説明すべき質問なのかを判断して、個別または学年全体に伝えるようにしています。

教科担任が必要ないと判断しても、生徒にはわかりにくい場合も考えられます。今後は教師間や学年内で連携をとるなどして慎重に対応していきます。

<部活動>

○廃部になる部があると聞きましたが、いつごろでしょうか。

令和7年9月以降、休日の部活動がなくなるということは、豊橋市全体の方針として決定しています。一方で生徒数が減少している学校では、職員数も減るため顧問の確保ができず、やむを得ず廃部になっていくところもあるようです。

しかし、本校ではそういった話題は出ておりませんので、ご安心ください。

<その他>

○本年度は、野外教育活動の事前説明会がなく、活動中の様子のメール配信もされませんでした。今後の行事もあるので、方針を教えてください。

本年度の野外教育活動については、保護者の皆様に内容を細かくお伝えすることができずご心配とご迷惑をおかけしました。今後は、体調不良等があった場合には、個別連絡等の対応をとらせていただきます。全体へのメール配信は控えさせていただきますのでご了承ください。

泊を伴う行事の際には、あらかじめ詳細な資料をメール配信するなどして、質問を寄せていただきやすくなるようにしていきます。